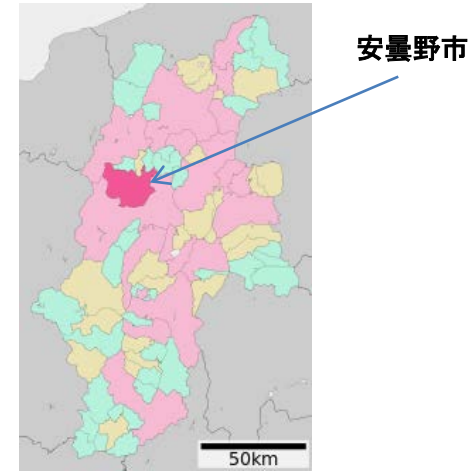


彩世あずみのテクノロジーセンター

日本アルプスを有し、教育と精密機械工業で有名な長野県。その北西部に位置する安曇野市に、「日本のものづくり回帰」を目指して”彩世あづみ野テクノロジーセンター”を設立しました。



- 敷地面積 : 1,840m²
- 建物面積 : 1,223m²(生産スペースはClass10,000以下のクリーンルーム)
- アクセス : ・電車 — JR大系線 安曇追分より徒歩約10分(穂高駅より車で約8分)
・車 — 長野自動車道 安曇野インターより約17分

彩世あづみ野テクノロジーセンターは”超小型化と自動化”を理念とし、レーザ・LED・フォトセンサー等の受発光素子を利用した光学モジュールの研究・開発・生産機能を持つ一貫事業所を目指します。

また、一般的にはモジュール製造＝”労働集約型産業(人手)”として位置づけられていますが、彩世では徹底的に日本製・高品質にこだわり、”資本集約型産業(設備)”として事業を推進して行きます。

☆独自性

- ①半導体生産技術をベースとし、バラつきを極小まで追い込んだ光学モジュールを実現するユニークな製造プロセス
- ②超小型モジュールのハンドリングを視野に入れた自社開発の完全自動量産機